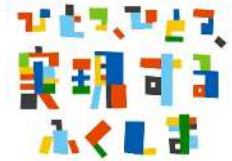


## 主要な農作物の生育情報



令和6年度 第9号

(令和6年12月10日現在)

福島県農林水産部農業振興課

### 【土地利用型作物】

#### 1 大豆

収穫は、11月末までに約9割の進捗状況となっています。一部、肥大不足により小粒化している、または、害虫が発生し被害粒が多い地域がありますが、収量・品質は平年並の見込みです。

#### 2 小麦

播種は、11月末までに約7割の進捗状況となっています。初期生育は、概ね良好です。

### 【野菜】

#### 1 秋冬にら

2年株の2番刈りは、平年並の12月上旬から始まっていますが、夏季の高温の影響により株養成が十分でないほ場では、葉幅が狭い傾向にあります。また、1年株の1番刈りは、平年並の11月中下旬から始まっています。

病害虫は、一部のほ場でさび病やネダニ類が見られています。

#### 2 いちご

促成栽培の普通育苗では、夏季の高温の影響により花芽分化が遅れたことから、平年より1週間程度遅い12月上旬より頂果房の収穫が始まっています。

病害は、炭疽病や萎黄病が継続して発生しています。害虫は、一部のほ場でハダニ類やコナジラミ類、アブラムシ類が見られています。

### 【果樹】（福島県農業総合センター果樹研究所における12月2日現在の生育概況）

#### 1 りんご

##### (1) 「ふじ」の収穫期と果実品質

「玉林」（マルバカイドウ台）の収穫盛日は11月3日で平年より8日遅く、昨年より2日遅くなりました。果実の大きさは323gで平年並、糖度が13.8° Brixで平年並でした。

「ふじ」の収穫盛日は11月17日で平年並、満開後日数は209日で平年より8日長くなりました。果実重の大きさは357gで平年並、糖度が15.2° Brixで平年並でした。また、蜜入り指数は1.6でした。

果実硬度は、11.6ポンドで平年より低くなりました。果皮中クロロフィル含量は平年より低く推移し、果皮中アントシアニン含量は平年よりかなり低く推移しました。

##### (2) 花芽分化率

花芽分化率（11月29日採取）は、「つがる」が79.7%、「ふじ」が74.5%でした。また、両品種とも一部の頂芽に褐変が見られました。

#### 2 なし

##### (1) 花芽分化率

花芽分化率（11月27日採取）は、「幸水」が73.0%、「豊水」が77.9%でした。

## 【花 き】

### 1 ストック

年内出荷の作型では、一部で高温による開花時期の遅れが見受けられ、平年より1か月程度遅い地域が見られます。11月から出荷が始まり、出荷量はまとまっています。12月いっぱいから年明けごろまで出荷が続く見込みです。

春彼岸出荷の作型では、定植作業が終了し、順調に生育しています。

年内出荷作型を中心に、ハイマダラノメイガおよびコナガによる食害が発生しています。

### 2 シクラメン

生育期間中の高温により、出荷時期は平年に比べやや遅れていますが、昨年度ほどの遅れは見られません。出荷が本格化しており、5号鉢の出荷が落ち着き、6号鉢の出荷が中心になる見込みです。出荷は12月いっぱい続く見込みです。

一部で、うどんこ病、炭疽病、芽腐細菌病、ヨトウムシ類の発生が目立つところが見られています。

### 3 枝物類

ユキヤナギは、12月上旬から加温ハウスへ入庫が始まっています。1月頃には、まとまった出荷となる見通しです。

サクラは、早い地域では低温処理を行っている状況です。出荷は平年並の12月下旬から始まり、1月以降出荷量が増える見通しです。

◎ 病害虫の発生状況や防除情報については、病害虫発生予察情報（ホームページ）  
<https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/37200b/> 等を活用し、適切に対応しましょう。

発行：福島県農林水産部農業振興課 TEL(024)521-7344

<http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36021a/nogyo-nousin-gi-jyutu03.html#seiiku>